

第2次

宇美町子ども読書活動推進計画

～ふみの里うみっ子読書プラン～が完成しました

宇美町の子ども読書活動推進計画は

- 宇美町では、文部科学省の指定を受けて進めてきた「子ども読書の街」づくりをもちに、平成22年2月に「子ども読書活動推進計画」（第1次）を策定しました。
- 今回の第2次推進計画は、この第1次推進計画の考え方を引き継ぎ、平成27年度～30年度の4年間を計画の期間としました。

子ども読書活動の現状と課題

- 宇美町では、保育所や幼稚園、小・中学校で、読み聞かせや10分間読書、図書館を使った調べる学習コンクール（*注1）などが進められ、学校図書館の貸出冊数が着実に増加するなど、読書活動が高められてきました。
- 平成19年9月には、町立図書館が新設され子ども読書活動の一大拠点が整備されました。現在では、約3万7千冊の児童書を保有するに至っています。（平成26年度末）
- しかし一方で、平成21年と26年の調査（宇美町子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査報告書）を比べると、読書活動をしている割合は次のように減少しています。

	読書活動を「よくしている」「ときどきしている」割合		
	平成21年調査	平成26年調査	比較
乳幼児	77.2%	65.6%	△11.6%
小学生	57.0%	60.6%	3.6%
中学生男子	68.2%	58.2%	△10.0%
中学生女子	75.3%	64.4%	△10.9%
高校生男子	55.2%	56.3%	1.1%
高校生女子	57.9%	44.4%	△13.5%

*乳幼児、小学生の読書活動は、読み聞かせを含む家庭での読書活動

- 国では、平成25年5月に第三次「子ども読書活動推進基本計画」が策定されました。その中では、小学生、中学生、高校生と学校段階が進むにつれて、1か月に1冊も本を読まなかった割合（不読率）が高くなるため、今後10年間でその半減をめざすことが明示されました。

具体的な取り組み

対象となる子どもは

- 宇美町に在住・在学する18歳以下の子どもを対象にします。

家庭・地域では

- 読み聞かせや家族といっしょに読書に親しむ機会をつくれます。
- 家庭内でノーメディアタイムをつくり、読書の時間を充実させます。
- 地域での読み聞かせなどの読書行事を推進します。
- 保護者をはじめ町民の読書ボランティア活動への参加を促進します。

保育所・幼稚園・学校では

- 保育士や教師、ボランティアなどによる読み聞かせを充実させます。
- 保護者に対し、家庭での読書活動を啓発します。
- 10分間読書や学校図書館を活用した授業の実施など読書活動の推進に努めます。
- 学校図書館の整備や司書教諭、学校司書などの指導体制を充実させます。
- 保育所、幼稚園、小・中学校、高等学校、町立図書館が連携して読書活動を進めます。

町立図書館や役場では

- 町立図書館は、子どもの発達段階に応じた図書資料を整備するとともに、ボランティアと共働してブックスタート事業やおはなし会、読書まつりなどの行事を充実させます。
- 町立図書館は、団体貸出の拡充や読書行事の開催により、地域での読書活動を推進します。
- 町立図書館と学校が連携し、「子ども読書リーダー養成講座」（*注2）を開催します。
- 教育委員会は、図書館を使った調べる学習コンクールに継続して取り組みます。
- 行政が協力して、子ども読書活動の広報活動に努めます。



昨年度の「子ども読書リーダー養成講座」実習の様子

*注1 図書館を使った調べる学習コンクール

小・中学生が学校や町立図書館で調べた学習の成果を作品にして応募し、第一次審査を町で行います。優秀な作品は全国コンクールに出品され、宇美町は毎年輝かしい実績をあげています。

*注2 「子ども読書リーダー養成講座」

町内全小学校から募集した子ども読書リーダーを読書の楽しさや、読書を広げる方法などの講座を通して育成します。その後、学んだことを各学校で実習し、読書活動の広がりをめざす取り組みです。平成27年度からは中学生も実施します。

推進計画の全文は町立図書館ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

<http://www.town.umi.lg.jp/site/umi-library/>

問い合わせ

町立図書館 ☎932-0600